

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果

公表日：2019年 2月 28日

事業所名：スマイルきむら

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペース的には十分な広さがあり、利用児さんが安心して活動できるスペースを確保しております。また、真ん中のドアを開けると広いスペースになります。活動の内容により区切るなど用途に合わせています。	はい…97% どちらともいえない…3% ・小学生になると一人一人が大きくなる為、もう少しスペースがあればと思う。・利用人数に対して十分の広さだと思う。	活動に必要な空間は確保できています。今後も更に過ごしやすい空間づくりを目指します。
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づいて人員を配置しています。必要に応じて人員を増員することもあります。職員は保育士や言語聴覚士または看護師、療育現場で経験のある人材を確保しています。	はい…91% わからない…9%	子ども達の支援に必要な人員配置を今後も引き続き確保していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内は段差がなく、物を沢山置かず安全面に気を配っています。また、室内は利用児さんが落ち着いて過ごすことができるようにシンプルな環境作りを心がけています。	はい…94% どちらともいえない…3% わからない…3%	今後も子ども達の特性に合わせた環境を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	通所後に室内等の清掃・消毒を毎回行っています。また、通所前にもドアノブや椅子、テーブルなどの除菌消毒を行っています。床暖房も完備しており、冬場でも裸足で利用でき安全です。	はい…97% わからない…3% ・いつも綺麗にすっきりとした部屋は有難いです。	今後も清潔を心がけ、心地よく過ごせる環境を整えます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎回、支援の前後にミーティングを行い申し送りと振り返りを行って職員間で情報共有をしています。また、毎日出勤していない職員にも情報共有ができるよう業務日誌や職員用回覧を使い閲覧できるようにしています。		今後も職員間で更に連携を深め、業務改善を積極的にしていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません		今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修のお知らせを随時職員に知らせています。研修を受けた際は全体ミーティングを利用し研修報告を行っています。また、各自で申し込んだ研修についても職員間でミニ研修会を行っています。		今後も職員のスキルアップの為に外部研修に積極的に参加できる機会を増やしていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画を立てる際に保護者様と面談をし、現状と今後の課題についてアセスメントを行っています。その内容をもとに個別支援計画を作成しています。		アセスメントを丁寧に行い、利用児童、保護者様のニーズに合った個別支援計画を作成していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントや個々のニーズに合わせて個別、集団活動の計画を検討し個別支援計画を作成しています。	はい…100% ・よく計画していただいております子どももできています	引き続き、個々のニーズに合わせて個別、集団活動の計画を作成していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画は子どもや保護者のニーズに基づき、できるだけわかりやすい内容で目標を設定し、具体的な支援内容を記載するように心掛けています。		支援に必要な項目や支援内容は今後も分かりやすく目標を設定し具体的に記載するよう心がけます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に基づいて支援を行い、職員間で話し合い共通理解を深め、その都度支援の内容を検討し合っています。	はい…100&	引き続き、適切な支援が行えるよう職員間で話し合い連携を深め共通理解に努めます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	活動内容やプログラムについては定期的な全体ミーティングで意見を出し合い検討したり決定したりしています。		今後も定期的なミーティングを行い意見交換をしていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	土曜日は調理実習やダンス教室を行っています。長期休暇には外出行事や余暇活動を行い、様々な社会体験ができるようにしています。	はい…100%	今後も平日では取り組むことが難しい活動やイベントを取り入れ、経験や体験を積み重ね、できることが増える喜びを味わえるよう実施していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	手作りおやつや、リトミックなどの体を動かす粗大運動や、制作などの微細運動を週替わりで行い、活動プログラムに変化をつけ工夫しています。		今後も活動プログラムが固定化しないように職員間で意見を出し合い、沢山の体験や経験ができるよう取り組んでいきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援前に職員でミーティングを行い、当日の利用児、プログラム、役割分担、連絡事項、送迎についての確認を行っています。		今後も引き続きミーティングを行い、支援内容や役割分担を把握し適切な支援を行っていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後には一人ひとりについての振り返りを行い、良かったことや注意すべきこと、今後の課題や支援方法の確認を行うミーティングを行っています。その日に出勤していない職員にも後日管理者が報告したり業務日誌を閲覧できるようにしたり、情報共有を心掛けています。		引き続き支援終了時のミーティングを行い、一人一人の振り返りや今後の課題などを要領よくまとめ情報共有し、次の支援につなげていくようにします。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	活動や課題への取り組みの様子の記録を行い、個別支援計画の検証・改善につなげています。		今後も継続し、支援の検証・改善に努めます。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に保護者様にモニタリングを行い、その内容をもとに、職員会議で意見を出し合い支援計画の見直しをするようにしています。		今後も継続し取り組んでいきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者が参加し、会議報告は職員会議、またはその日のミーティングで報告しています。	可能な限り参加し、情報共有や連携を図っていきます。またその内容を職員間で情報共有していきます。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者様から依頼があれば、園訪問を行い担任の先生や支援級の先生と連携をとるようにしています。また事業所に学校の担任の先生が訪問し情報共有をし連携を取り合うこともあります。	今後も必要に応じて行き、各関係機関で情報共有ができる環境が更に整うことを望みます。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在対象の事例はありませんが、必要な時は当事業所での様子や支援方法などの情報の提供をしていきたいと思えます。	必要に応じて、行っていきます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修については、毎年職員が順に受講するように促進しています。	これからも、研修会等に積極的に参加します。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	保育園や幼稚園への交流は時間的に難しさがありますが、図書館や児童館のイベントなど地域の子どもさんと交流できる場を検討していきたいと思えます。	はい…9% どちらともいえない…13% いいえ…28% わからない50% ・公立小学校に通っているの、あまり必要性を感じません。	可能な限り、交流機会の確保を検討いたします。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の方を招待できる行事を行っていないのが現状です。今後は地域住民の方と交流できる場を考えていきたいと思えます。		できることから考えていきたいと思えます。まずは地域住民の方にご理解をいただけるよう努力していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容については連絡ノートや送迎時にその日のプログラムと活動の様子を記載したり伝言したりして知らせています。利用者負担額等については、契約時に重要事項説明書を基に説明しています。	はい…97% どちらともいえない…3%	現状を維持すると共に、更に丁寧な説明を心がけます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	来園時や送迎時に作成した支援計画を基に説明しています。	はい…100%	現状を維持すると共に、更に丁寧な説明を心がけます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在ペアレントトレーニングは実施していませんが、個別に相談があった場合は対応させていただいています。	はい…34% どちらともいえない…13% いいえ…16% わからない37% ・ペアレントトレーニングは無いです。茶話会で他の保護者と話し合う機会があります。 ・家族支援プログラムというのが何なのかわかりません。 ・勉強会があれば嬉し	今後は保護者様に向けての講座を検討しているところです。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートや送迎時の引き渡し時に、その日の様子や課題について情報共有するようにしています。	はい…100% ・送迎時によく話していただきます。	現状を維持し実施していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて相談があった場合は、懇談の時間を設け、保護者様に寄り添い一緒に良い方法を考え、解決に向けてサポートさせていただきます。	はい…88% どちらともいえない…12%	現状を維持すると共に、更に保護者様に寄り添い連携を深めていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年に2回茶話会を企画し、保護者様同士で悩みを共有したり情報交換したりできる場を設けています。	はい…86% どちらともいえない…10% わからない…4%	今後も茶話会等を実施し、保護者様同士連携できる場を増やしていきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合には原因、改善点等について職員間で話し合い、迅速に対応ができるようにしています。	はい…46% わからない…54% ・苦情がない、または、言ったことがないのでわからない	現状を維持していきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要な場合には口頭だけでなく書面での伝達やお知らせを行っています。子どもとの意思疎通については必要に応じて視覚支援の対応をとっています。	はい…96% どちらともいえない…4%	現状を維持すると共に、更に丁寧な説明を心がけます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月一回、園便りを配布し、行事予定や活動内容の説明、課題や目標、活動の内容がわかるよう写真等を記載しています。	はい…86% どちらともいえない…3% わからない…11% ・会報はよく見ますがHPをみていなかったのこれから見るようにします。 ・活動の様子を利用者のみでよいのでネットで見れるようにしてほしい。	今後も、HPやお便りの内容について検討し、取り組み等の発信ができるよう努力します。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に保護者様に個人情報同意書を書いて頂いています。個人情報については十分に注意して取り扱うように徹底しています。	はい…93% わからない…7%	個人情報の取り扱いについては慎重に対応し、危機感を持って扱うと共にセキュリティ面の更なる強化を行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、マニュアルは職員がいつでも閲覧できるようにしています。保護者様に周知できていないのが現状なので、今後対応を検討致します。	はい…71% どちらともいえない…11% わからない…18% ・避難場所や児童の引き渡し方法の示されたマニュアルが欲しいです。	緊急時対応マニュアルを作成し、保護者様に周知いたします。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月一回ずつ火災・地震・不審者侵入の避難訓練を行っています。	はい…75% どちらともいえない…7% わからない…18% ・引き渡し訓練がありましたら参加したいです。	今後も引き続き実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待についても研修があれば職員に研修のお知らせをするようにします。また、利用者さんの支援方法や対応の仕方などは気付いた時にミーティングなどで話し合い、職員間で検討・改善を心がけています。		更に意識を高めるように研修等で学ぶ機会を作ります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	これまで身体拘束をするような事例はありませんが、今後そのような事例が出た場合は保護者様に同意を得た上で対応させていただきたいと思えます。		そのような事例が出た場合には、保護者様に十分に説明し同意を得た上で対応し書面等で記録を残します。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーの有無を契約時に保護者様から確認し、アレルギー発症時の症状や対応について詳しく聞き取りをしています。職員にも伝達し食物アレルギーのある利用児さんの一覧表を台所に提示しています。		今後も継続的に対応し、安全面に配慮し取り組みます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットや事故報告はその都度、発生状況・経緯や原因、再発防止への取り組みを記入して報告書を作成し、職員間で共有・確認を行っています。		更に意識を高め、改善に向けて努力していきます。